



令和2年7月17日

報道機関 各位

東北大学データ駆動科学・AI教育研究センター

### 新たな社会に向き合える AI 人材の育成・輩出を加速 AI・データ科学の基礎教育コンテンツ(AIMD for Future)の提供開始

#### 【発表のポイント】

- 東北大学データ駆動科学・AI教育研究センター(※1)と aiforce solutions が東北大学におけるデータ科学・AI教育の促進に関する共同研究契約を締結
- 新入生2400人向けのAI教育教材「AIMD for Future」を共同開発、2020年6月より提供開始
- 東北からより多くのAI人材育成・輩出を目指すための施策を共同で開発・推進

#### 【概要】

ニューノーマル時代に向けて、AI を開発活用できる人材の育成が急務です。東北大学データ駆動科学・AI教育研究センター(センター長 早川美徳教授)は、株式会社 aiforce solutions(本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 西川智章、以下「aiforce」と、2020年6月2日に共同研究契約を締結し、新入生2400名向けのデータ科学・AI教育の基礎教育コンテンツ「AIMD for Future」を開発、6月より提供を開始しました。以下の施策を共同で開発・推進します。

- ① 「AIMD for Future」に学部専門教育で必要となる「課題×データ×AI」をセットとした演習付きの教育コンテンツを追加開発、対象者を新入生に加え学部生まで拡充。
- ② 共同開発した教育コンテンツ等を東北の企業や大学に提供することにより、AIリテラシー並びに生産性の向上実現に取り組む。



＼ 社会で活かす ＼  
数理・統計・AI教育  
プラットフォーム

**AIMD** for Future  
Artificial Intelligence × Math × DataScience

AIMDの基礎を学ぶ

演習問題にチャレンジ

**AIMD** for Future  
Artificial Intelligence × Math × DataScience

## 【経緯】

現在、ニューノーマル時代に向けて AI や IoT など先端技術を活用した社会構造やビジネスのデジタル変革 (DX: Digital Transformation) の必要性が急激に高まっております。しかし、その中心と目されている AI については、慢性的な人材不足が問題となり、日本、特に地方においては DX への取り組みが立ち遅れているのが実態です。東北大学は「東北大学ビジョン 2030」において、①グローバルマインドセット、②AI・データスキル、③アントレプレナーシップに関する実践的教育を通して、学生の「挑戦する心」に答えることを掲げ、AI 教育にも重点的に取り組みを加速してまいりました。東北大学には、AI・データスキルを習得させるための、数理、統計、機械学習など幅広い教育コンテンツは提供されていたものの、難易度の高いものが多く、文系、理系問わず新入生全員がそれを体得するのが難しいことが課題でした。

aiforce は、2018 年の創業以来、AI 活用が進まなかった日本のあらゆる業種や業務において、実証実験に留まることのない真の AI 活用を支援してまいりました。また、全ての人々が AI を自由に活用できる社会を実現するために、2019 年より東北大学経済学部において科目「ビジネスデータ科学」を担当し、社会やビジネス現場における AI 活用事例、機械学習を活用した予測モデルがマウス操作だけで構築できる自社開発サービス「AMATERAS RAY」を活用した演習、地元中小企業への AI を活用した問題解決提案などを織り交ぜた実践的な講義を通し、大学での AI 人材育成にも取り組んでいます。

AI 領域におけるビジネス及び実践的教育における aiforce の実績並びに製品開発力と東北大学データ駆動科学・AI 教育研究センターの学術的な知見を融合させることで、文系、理系問わず、わかりやすくデータ科学・AI を学ぶことができる基礎教育コンテンツ「AIMD for Future」を短期間で開発することに成功し、コロナ禍におけるオンライン授業化の中、e-learning コンテンツとして提供を開始しました。

### 【今後の展望】

2020 年後期を目途に、「AIMD for Future」の対象者を初学者である新入生に加え、学部生へと段階的に拡充致します。学部専門教育で必要となる「課題×データ×AI」をセットとした演習付きの教育コンテンツなどを順次共同で開発・リリースすることを予定しています。

また、当該共同研究を軸とし、既に 2019 年度より経済学部で実施している AI に特化した日本初の PBL 授業「ビジネスデータ科学」に加え、東北の自治体、経済界などと連携し、地元企業や大学に対し、開発した教育コンテンツや機械学習によるデータ分析自動化ツール等を提供することで、東北地区における AI 人材の育成及び AI を活用した生産性の向上に貢献する取組みを共同で加速させて参ります。

### 【用語解説】

#### ※1 東北大学 データ駆動科学・AI 教育研究センターについて

データ駆動型社会の到来によってデータ科学および AI の活用を担う人材不足が深刻化している中で、変革の時代を先導する人材育成をはかるため、2019(令和元)年 10 月 1 日に学内共同教育研究施設等として設立、データ科学・AI 分野の教育研究の大学内の拠点として、組織横断的に、リテラシーレベルから、専門教育、高度プロフェッショナル養成に至る一貫した教育プログラムの構築と実施を推進しています。

#### ※2. 東北大学経済学部における PBL 授業「ビジネスデータ科学」(2019 年度～)について

2019 年に東北大学大学院経済学研究科と共同研究契約を結び、AI に特化した学部生向け問題解決型(PBL)授業「ビジネスデータ科学」を提供しています。特徴は、3つあり、①機械学習によるデータ分析自動化ツール「AMATERAS RAY」を活用し、概念ではなく「体験」を通じて、AI でできることを学ぶ、②東北を代表する先進的取り組みを実践している企業についての理解を深める、③地元企業の実ビジネスデータや AI を活用した DX の提案・問題解決の実践です。社会で必要とされる AI 教育を実施したい大学、AI を学びたい学生、AI 人材を採用したい、AI を通じて問題解決、事業創造を行いたい企業が、抱えているそれぞれの悩みを解決するプログラムです。2019 年は 70 名、2020 年は、200 名以上が履修しています。また当 PBL 授業の構築には、地元

企業株式会社ミヤックスに支援いただいております(事業者ネットワーク、講義運営のサポート等)。



■ 株式会社 aiforce solutions について (<https://www.aiforce.solutions/>)

現在、日本国内において AI 市場は加熱気味の一方、それを担う専門家人材が不足しており、需要と供給がマッチしていません。また、AI 導入には高額な導入費用と期間がかかるため、メディアで報道されているほどビジネス市場における AI 導入は進んでいないのが実態です。この問題を解決するために、AI 運用の内製化を強力に推進する AI データ分析自動化ツール「AMATERAS RAY」並びに AI リテラシー向上の為の e-learning プログラム「AMATERAS EDU」を開発・提供しています。

社名	株式会社 aiforce solutions
設立	2018 年 7 月
代表者	西川 智章
所在地	東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー2F
従業員数	19 名
事業内容	<p>① <b>AI データ分析自動化ツール「AMATERAS RAY」の開発、販売</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マウス操作だけで機械学習による学習済みモデル構築ができるソフトウェアの提供</li> <li>・AI モデル構築時間を大幅に削減し、仮説・検証サイクルを早期に回せる仕組みを提供</li> </ul> <p>② <b>AI 人材育成プログラム「AMATERAS EDU」の開発、販売</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスパーソンの AI リテラシー向上を目的とした体系的 e-learning 教育プログラム</li> <li>・AMATERAS RAY を活用し、誰もが AI モデル構築プロセスを体験する価値を提供</li> </ul> <p>③ <b>DX/AI コンサルティングサービスの提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ分析、AI モデル構築業務</li> <li>・業務課題、テーマ選定、導入コンサルティング、内製化支援等</li> <li>・AI プロジェクト PM (AI ベンダー選定、投資先の技術評価と選定支援等)</li> </ul>

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

**【お問い合わせ先】**

東北大学データ駆動科学・AI 教育研究センター  
センター長 早川美徳 教授

電話 022-795-7680

E-mail [cds-director@pobox.cite.tohoku.ac.jp](mailto:cds-director@pobox.cite.tohoku.ac.jp)

株式会社 aiforce solutions

広報担当 堀井

E-Mail [info@aiforce.solutions](mailto:info@aiforce.solutions)